

## 西脇市総合計画審議会会議録

会議名	第1回 西脇市総合計画審議会		
開催日時	平成24年7月2日（月） 「 開会 14時00分 」 「 閉会 16時15分 」		
開催場所	西脇市役所特別会議室		
議長氏名	中川幾郎		
出席者氏名	別紙名簿のとおり（18名）		
欠席者氏名	別紙名簿のとおり（0名）		
会議事項	1 議題	1 委員の委嘱 2 市長あいさつ 3 自己紹介 4 会長及び副会長の選出 5 西脇市総合計画・後期基本計画の策定について（諮問） 6 議事 (1) 審議会の役割・運営方法について (2) 計画の策定方針・スケジュールについて (3) 総合計画の概要について (4) 前期基本計画の進捗状況について (5) 後期基本計画の見直しの論点について 7 その他	2 会議結果 ・会長に中川委員、副会長に竹内委員・細井委員を選出 ・来住市長から中川会長に総合計画・後期基本計画の策定について諮問 ・西脇市総合計画審議会会議運営要綱を決定 ・議事について確認。委員から資料提出等の要請があったものについて資料作成し、送付又は次回審議会において回答
	会議の経過	別紙のとおり	
会議資料	・会議次第 ・会議資料 ・別冊1 西脇市総合計画・前期基本計画 政策・施策検証シート ・別冊2 西脇市総合計画・前期基本計画「まちづくり指標」推移一覧 ・西脇市総合計画・行動計画（第4次期間：平成24～26年度）		
会議録の確定			
確定年月日		署名押印	
平成24年7月23日		署名委員 片岡道子 印 亀岡澄子 印	

### 総合計画審議会委員出欠者名簿

区分	氏名	出欠	備考
会長	中川 幾郎	出席	
副会長	竹内 泰彦	出席	
〃	細井 雅代	出席	
委員	片岡 道子	出席	
〃	亀岡 澄子	出席	
〃	斎藤 太紀雄	出席	
〃	笹倉 幸代	出席	
〃	篠原 邦子	出席	
〃	藤井 篤史	出席	
〃	藪根 隆	出席	
〃	直田 春夫	出席	
〃	大前 道廣	出席	
〃	勝岡 めぐみ	出席	
〃	中野 眞理子	出席	
〃	藤原 幸子	出席	
〃	吉田 光一郎	出席	
〃	尾田 博明	出席	
〃	多井 俊彦	出席	

### 市・事務局等出席者名簿

区分・職名	氏名	備考
市長	來住 壽一	
ふるさと創造部長	吉田 孝司	事務局
企画政策課長兼行政経営室長	高田 洋明	〃
企画政策課主査	萩原 靖久	〃
企画政策課主任	板場 逸史	〃

◎第1回総合計画審議会会議録

発言者	記 事
<p>会長</p> <p>副会長</p> <p>副会長</p>	<p>○委員の委嘱</p> <p>○市長あいさつ</p> <p>○自己紹介</p> <p>○会長及び副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長に中川幾郎委員、副会長に竹内泰彦委員と細井雅代委員を選出</li> </ul> <p>《中川会長あいさつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回に引き続き、会長となった。審議会では、委員全員に何か発言してもらおうという主義にしているの、必ず発言してもらいたい。約半年間よろしくお願ひしたい。</li> </ul> <p>《竹内副会長あいさつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の策定からもう5年も時間が経ったのかというのが率直な印象である。前回に続き、中川会長を支えていきたい。</li> </ul> <p>《細井副会長あいさつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中川会長と竹内副会長を支えていきたいので、委員の皆さんにも協力をお願いしたい。</li> </ul>
<p>事務局 会長 委員 会長</p> <p>委員 会長</p>	<p>○西脇市総合計画・後期基本計画の策定について（諮問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から中川会長に進行を交替</li> <li>・來住市長から中川会長に計画策定の諮問</li> </ul> <p>○議 事</p> <p>(1) 審議会の役割・運営方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明</li> <li>・意見・質問聴取</li> <li>・意見なし。</li> <li>・この審議会の運営原則を定めた「西脇市総合計画審議会会議運営要綱（案）」について委員にお諮りする。</li> </ul> <p>委員 会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挙手全員</li> <li>・全員賛成のため、原案どおり決定する。なお、運営要綱を決定したので、規定に従い、今回の会議録署名委員に片岡委員と亀岡委員を指名する。</li> </ul>
<p>事務局 会長 委員</p> <p>事務局 会長 委員</p>	<p>(2) 計画の策定方針・策定スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明</li> <li>・意見聴取</li> <li>・意見なし。</li> </ul> <p>(3) 総合計画の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料、スライド説明</li> <li>・意見聴取</li> <li>・意見なし。</li> </ul>

<p>事務局 会長 委員</p>	<p>(4) 前期基本計画の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料、スライド説明</li> <li>・意見聴取</li> <li>・資料にある「まちづくり指標」の推移は、客観的なデータに基づいたものだという事は理解したが、前期基本計画の進捗状況は、誰がどのように判断したのか。</li> </ul>
<p>事務局 委員 事務局 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当課が作成し、提出された調査票に基づき、事務局と協議を行い、判断したものである。</li> <li>・市役所内部で判断したということか。</li> <li>・そのとおりである。</li> <li>・前期基本計画の進捗状況の資料で、「△」（＝期間中に検討した結果、実施の必要性が低いと判断した事業・取組）と判断したものについては、結果的には今後取り組まないということになるのか。</li> </ul>
<p>事務局  会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ取り組むことはないと考えてもらってよい。前期基本計画の策定段階では取組が必要と考えていたが、その後の社会経済情勢などを踏まえて、あらためて検討した結果、取り組む必要性がないと判断したものである。</li> <li>・昨年度まで開催していた総合計画推進市民会議で、委員を務められていた方もあるが、そこで確認していただいたのと同じ方法で進捗状況の判断がされている。</li> </ul>
<p>事務局 会長 委員</p>	<p>(5) 後期基本計画の見直しの論点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料、スライド説明</li> <li>・意見聴取</li> <li>・西脇市の年齢3区分人口をみると子どもが少ない。生産年齢人口が15歳以上となっているが、現実には中卒就労者がほとんどおらず、高校生となる18歳以下の年齢がここに含まれていることに違和感がある。国の統計上の区分であると思うが、18歳までを年少人口に含めばよいと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の人口が増えていくことが強調されているが、それほど危機的なこととは思わない。実際には65歳以上で働いている人は多いので、団塊の世代の就業率を示してもらった方が現実である。</li> </ul>
<p>会長 事務局 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の2点について回答してもらいたい。</li> <li>・すぐには回答できないので、次回の審議会での回答、または会議資料とともに、資料を送付する。</li> <li>・歳出の内訳にある費目の内容について、教えていただきたい。</li> <li>・「人件費」は職員や市会議員の給料や各種委員の報酬、「扶助費」は生活保護経費や児童手当、福祉サービスに関する経費、「公債費」は借入金の元利償還金、「補助費等」というのは、</li> </ul>

	<p>補助金と負担金で、一般会計から病院や上下水道事業への負担金なども含まれる。「投資的経費」は施設や道路の建設費と消防車などの購入費、「その他」は、事務用品などの物件費をはじめ、今説明した費目に含まれないものである。</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議事は終了したが、あいさつでも言ったように、意見や質問、感想などを委員一人ずつにお願いしたい。</li> <li>・こうした会議に出席するのは初めてであるが、資料に目を通し機会があれば積極的に発言していきたい。</li> <li>・わからないことが多くあるが、これからも勉強していきたい。先ほどの前期基本計画の進捗状況の報告の中で、事業が止まっているものもみられるが、その判断は職員がしているものなのか。</li> <li>・説明を聞くのが精一杯であった。私は市民エコ会議で、かんきょう大学の運営にも携わっているので、環境のところではいろいろな意見を言いたい。また、幼稚園教諭でもあったので、「子どもの教育にお金をかけない市は発展しない」と当時よく聞いていたので、こうした政策にも興味がある。</li> <li>・住んでいる西脇地区の人口減少が著しく、今後の減少予測の説明もあったので、不安である。西脇市では働く場所がないので若い世代が都会に出て行き、そのまま就職して帰ってこない。若い世代が帰ってこられるように、産業に力を入れていただきたい。</li> <li>・人口減少と少子高齢化は、平成32年度までの予測が示されている一方で、財政状況については何の推計も示されていないので、計画策定に向けての議論ができない。今後、職員も減っていくであろうし、財政状況の予測を示してもらいたい。</li> <li>・詳しい資料が示され、丁寧な説明を聞かせていただいた。</li> <li>・商業や経済が発展しないと、人口が減っていくばかりである。若い世代が安心して働けるよう産業の誘致を進め、裕福なまちにしていけるような努力をしてもらいたい。</li> <li>・資料にある「まちづくり指標」で教えてもらいたいのだが、市職員数は、平成18年度の 699人から平成23年度には 666人と30人ほど減っている。市長の公約では合併前から 100人ということであったが、30人しか減っていない理由は何か。また、消防本部の合併に伴い、市内で火災が発生した場合、消防団の協力がないと消火活動に支障がでるとも聞いたが、加東市にある本部に西脇市の消防署から何人の職員が移ったのか。</li> <li>・今後の会議の進め方で、8月の審議会から基本計画の各章が提示されていくことになると思うが、「まちづくり指標」については前期基本計画のものとは別に新たに考えるのか。それとも前期の指標に追加することになるのかを確認したい。</li> </ul>
会長	
委員	
委員	
委員	
委員	
委員	
委員	
委員	
副会長	
副会長	

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政推計については、平成27年度までの「財政健全化プラン」を作成しているので、次回の審議会で提示する。</li> <li>・職員数については、市長公約は合併から10年間で100人の削減ということであった。実際には5年間で100人の事務職員が減少しているが、資料で30人しか減っていないのは、市立病院の看護師の増加による影響が大きい。一般の行政職員はかなり減っているが、看護師などの医療職が増えている。</li> <li>・消防署の職員で加東市の本部へ異動した人数は、昨年度で9人、今年度は10人となっている。</li> <li>・「まちづくり指標」については、前期基本計画の進捗状況を踏まえ、そのまま後期基本計画でも使うもの、また削るもの、新たに設定するものがある。前期基本計画では統一されていない指標のレベルについては、合わせていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期基本計画期間の「まちづくり指標」の推移について、良くなった指標数の約半分、全体の3分の1が悪くなった指標というのは結構多いという印象である。行政だけでなく、みんなで分析して、よくなっていくような方法を提案していきたい。</li> <li>・投資的経費が増大しているのは、病院建設など企業会計への操り出しが多くなったためではないかと思うが、そうしたことがわかる資料があれば、みんなで議論できると感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状や課題は説明を受けたが、その上で、我々はどうしていけばいいのか。これから半年間、市民と行政がみんなで考えていきたいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子どもが小学校に入学したクラス編成や幼保一元化の問題などを通して、少子高齢化を身近に感じている。財政が厳しいということもわかったが、手助けが必要な子どもたちや、高齢者、障害者が自立するのが当然とはならないようにしていきたい。</li> <li>・前期基本計画の進捗状況をみて、進んでいる事業が多いので安心したが、これから進めていく政策や事業については、基本構想の考え方に照らし合わせながら考えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近エコ住宅助成の回覧を見たが、この前、県の防災センターに行ったときに昭和時代の家屋の耐震性は低いという話を聞いた。公共施設の耐震化は進められているようだが、エコ住宅だけでなく、民間住宅への耐震化の助成というものも検討してはどうか。</li> <li>・進捗状況の説明で予防接種の無料化の拡充とあったが、若い女性の子宮頸がんの発症も増えている中、西脇市では一定の年齢で、予防接種の完全無料化を実施しているのか教えてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明が多かったなので、理解をできていない部分も多い。歳出の説明があったが、学校現場に居て、なかなか要望しても予算がつかなくなった経験もあるので、教育費の占める割合について知りたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年自分の家に太陽光発電設備を導入したが、今年から西脇市では太陽光発電の補助が始まった。以前には、生ごみ処理機の購入助成も西脇市だけが県内でもなかったもので、県内でも取組が遅れているものが多い。県内でも進んだ事業があればよいと思う。</li> <li>・人口減少と少子高齢化の進み具合は地区によっても異なるので、そうしたことがわかる資料を提示してもらいたい。野村地区に住んでいるが、子どもが少ないという実感は正直しないので、問題共有をしていくには、そうした細かいことがわかる資料を出してもらいたいと感じた。</li> <li>・「まちづくり指標」で「自治会や子ども会など地域の活動に参加すべきと考える市民」が減ってきているが、人口減少が著しい地区と、そうでない地区でも実感が異なると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況や指標の推移に関する資料を見て、心の豊かさやふれあいを感じている施策が進んでおり、そうしたことが住みたいと感じる人の向上につながっているのではないかと感じる。一方で、都市化が進み、地域社会に関心がない、参加したくない人も増えており、そうしたことに関連する施策が、あまり進んでいないように感じる。</li> <li>・確実に人口減少と財政の縮小が進む中、地域力の向上に向けた施策が重要である。西脇市は地域の力がまだ十分あるので、ここでこ入れを行い、地域力の向上につながることを審議会の中でも議論していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向こう6年間の計画であるが、行財政運営がますます困難な時代になり、思い切った発想や判断が必要であると考え。事業の削減や施設の廃止も否応なく考えなければならず、どの事業をするのかだけでなく、どの事業をしないのか、という視点も必要となる。行政側の意見だけで判断していくのではなく、市民のみなさんの意見も十分聞かせていただきたい。</li> <li>・今年度は200億円を超える一般会計予算となった。学校の耐震化や学校給食センターなど、どうしても必要なハード事業については、合併特例債という有利な財源を使いながら進めていきたいと考えている。一方で、600億円近い借金を抱えており、経営のバランス感覚を持ちながら進めているが、この計画の審議の中で、シビアな議論をしていただきたいと考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資的経費が増加している要因は、合併特例債を活用した学校の整備によるもので、67%が後年度に地方交付税で措置される。これが本市への地方交付税額の増加にもつながっている。</li> <li>・住宅の耐震化については、県が耐震診断の助成を行っているが、耐震工事への助成は本市では行っていない。今後、協議していきたいと思うが、個人の資産形成に対する助成になるので、行政</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>としては正直難しい部分もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種の無料化の状況については、後日資料を提示する。</li> <li>・教育費の割合については、平成22年度決算で一般会計の約9%である。この中には、学校の耐震化事業も入っているので、従来よりも割合は高くなっている。</li> <li>・太陽光発電などの補助については、昨年度策定された環境基本計画や今後策定を予定している新エネルギービジョンの中でも今後の方向性を位置付けていきたい。</li> <li>・本日は1回目の審議会でもあり、事務局からの説明を聞くだけでも精一杯であったかもしれない。この場だけで、全部理解できないというのも当然であると思う。</li> <li>・審議会の開催回数も6回であり、1回当たりの会議時間を2時間と考えると、事務局の説明もあり、委員の質疑など持ち時間は限られる。18人の委員で考えると、1人5分程度となるので、効率的に会議を進めるためには、制度や事業内容についての質問は、事前に事務局に問合せいただきたい。その上で、事業の見直しや新しい制度の提案などをいただくのは、審議会の場で結構であるが、制度や事業の内容が不明なので教えて欲しいという質問は、事前に済ませておいてもらいたい。1人の持ち時間は4、5分程度というのを共通ルールとしたい。</li> <li>・この総合計画審議会は、地方自治法に基づき、条例で設置されており、政策審議を行う場である。事業の審議会ではないので、具体的な事業の進め方を話し合うのではなく、最高レベルの政策そのものの協議を行う場である。</li> <li>・委員には、税の負担者としての視点や、サービスの受益者としての視点もあるが、偏ることなく、バランスよくみていただき、市の経営者としての視点を持って考えていただきたい。租税負担者の視点だけであれば、できるだけ金は払わずに、受けられるサービスは目一杯受けたいということになる。そうした視点で市政に要求していけば、市は確実に破たんする。料金負担の垣根は無くし、24時間手厚く行うサービスの実施をすれば、経営は成り立たない。</li> <li>・障害者など特定の少数者に対する政策を多数決で進めていくのはよくない。そうした視点も持ちながら、経営者の視点で、審議会に臨んでいただきたい。</li> <li>・私たちだけでなく、将来の世代のために、このまちをよくするという視点も必要である。そのためには、何を進めて、何を踏みとどまるべきなのかということをよく考えなければならない。持続可能な発展ということが最近よく言われるが、今を生きる我々の世代の満足度の視点だけで要求をしてはいけない。</li> </ul>
-----------	--



事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・もうひとつは、金や情報といった流れだけで考えるのではなく、何をストック、資産形成していくのかという視点で総合計画を考えていく責任がある。例えば、先ほど病院に人材が必要であるということで看護師は増やしているが、行政の事務職員は減らしている。これは人的ストックの置き換えであり、こうした発想で、資産管理を考えていけば、もっと議論が深まるのではないか。</li><li>・次回の審議会の手配を連絡</li></ul>
-----	--